

Wearable Camera

EW-1

取扱説明書



本機的主要な特長

★用途で選べる3タイプのモード

・CLOUD カメラモード

クラウドに接続することで、遠隔地から現場カメラの映像と音声を確認しながら作業支援を行うことができます。弊社クラウドサービス「ELMO QBiC CLOUD」に対応しています。

・簡易IPカメラモード

ネットワークカメラとして無線ネットワーク内での映像配信が行えます。コントロール室からの映像確認など、カメラを付けた人の目による確認とともにダブルチェックが行えます。

・USBカメラモード

USBカメラとしてパソコンと接続することで、ウェブカメラとして機能します。

付属のクリップで取り付けるだけでなく、三脚ネジが搭載されたアタッチメントも付属されているので三脚などに取り付けて固定することも可能です。

★対角 150° の広角レンズ

水平 126°、対角 150° の広角レンズを採用し、1台のカメラで広範囲をカバーします。また、画面揺れにも強い映像を実現します。

★高感度 CMOS センサーを採用

低照度環境でも白黒に切替わることなく、カラーで撮影することができます。
(最低被写体照度 0.05lx → 暗所でも撮影可能)

★IP65 対応

濡れた手での操作や雨の日でも撮影できます。
また、粉塵が機体に入らない IP6X 性能を搭載しています。

★外部バッテリーで稼働可能

外部接続による給電・稼働が可能です。
バッテリー容量が減っても、別のバッテリーですぐに撮影を再開できます。
(バッテリーの容量も自由に選択できます。)

★豊富な専用アタッチメント付

3種類の専用アタッチメントを付属しており、本機を衣服に取り付けたり、三脚ネジに取り付けたり、角度を付けたりすることができます。

■ 安全上のご注意

安全にお使いいただくために—必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称: 注意 意味: 注意(しなければならないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 禁止 意味: 禁止(してはいけないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 接触禁止 意味: 接触禁止(してはいけないこと)を示します。 接触すると感電などの傷害が起こる可能性があります。
	名称: 分解禁止 意味: 分解禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの傷害が起こる可能性があります。
	名称: 強制 意味: 強制(必ずすること)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。

危険



- **可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しない。**
火災や爆発の原因となります。

警告



- **幼児、子供の手の届く範囲に放置しない。**
ケーブルを誤って首に巻きつけたり、足に落としたり、踏みつけたり、下敷きにしたりして、窒息やけがをする恐れがあります。
- **内部に水や異物を入れたり、濡らしたりしない。**
発煙、発火、感電、火傷、故障の原因となります。
- **落としたり、重いものに乗せたり、衝撃を与えたり、圧力をかけない。**
けがや故障の原因となります。
- **ケーブルを破損するようなことはしない。**
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、水や異物を入れたりしないでください。傷んだまま使用すると火災、感電、火傷の原因となります。



- **雷が鳴り出したら本機、コード（ケーブル類）には触れない。**
感電の原因となります。
- **濡れた手で触らない。**
故障、感電の原因となります。



- **本機の分解、修理、改造をしない。**
感電の原因となります。点検・修理は、販売店またはエルモ社カスタマーサービスにご依頼ください。



- **異常を感じたら、直ちに使用をやめる。**
異常状態（異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出る等）のまま使用すると火災・感電の原因となります。ケーブルを抜き、直ちに販売店またはエルモ社カスタマーサービスにご連絡ください。
- **万一、内部に水や異物などがいった場合は、ケーブルをパソコンまたはバッテリーから抜き、電源を切る。**
そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。直ちに、販売店またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。
- **万一、ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）、ケーブルをパソコンまたはバッテリーから抜く。**
そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。直ちに、販売店またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。
- **ケーブルは根元まで確実に差し込む。**
差し込みが不完全だと発熱や、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- **バッテリー（別売り）を使用する場合は、必ず推奨品を使用する。**
推奨品でないものを使用すると、発熱、発火、故障の原因となります。

注意



- **長時間使用しない場合は、必ずケーブルを抜き電源を切る。**

絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。

- **次のような場所では使用しない。**

直射日光の当たる場所、高温になる場所、湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気・水滴が当たる場所、熱器具のそば、振動の多い場所。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

- **本機を長時間素手で持たない。**

とくに皮膚が過敏な方は、ご注意ください。本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談ください。

- **接続部分にほこりをつけたまま差し込まない。**

火災・感電の原因となることがあります。

- **ケーブルを持って振り回したりしない。**

事故やけが、故障の原因となります。



- **病院などで使うときは、病院などの管理・監督者の指示に従う。**

本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

火災・感電の原因となることがあります。

- **心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部から 15cm 以上離す。**

本機からの電波がペースメーカーに影響を与える場合があります。

使用上のご注意

- 本機の使用に際しては、必ず付属品をご使用ください。
- 付属品は本機専用です。他の製品に使用しないでください。
- レンズ部には直接触れないでください。レンズが汚れると画質劣化の原因となります。
- 使用上の環境条件
温度：-10℃～40℃ 湿度：30～90%（結露しないこと）
- 電源を入れる際は、必ずアタッチメントカバーを取り付けてください。また、電源を入れた状態でアタッチメントカバーを取り外さないでください。本機の背面が熱くなり、火傷をする恐れがあります。
- 防水・防塵について
 - ・本機は IP65 相当の防水機能を有しておりますが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。お客様の誤った取り扱いが原因の故障は保証の対象外となります。
 - ・本機をぶつけたり、落としたりなど衝撃を加える、またケーブルに過度の負荷を与えた場合、防水性は保証いたしません。修理(有料)についてはご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
 - ・本体の USB ケーブル端子部は防水ではありません。濡れた手で取り扱わないでください。
- 次のような場所には保管しないでください
 - ・屋外、湿気やほこりの多い場所 / 直射日光のあたる場所、高温となる場所 / 氷点下となる場所（寒冷地で暖房のない場所） / 磁石または磁場の近く / 振動の多い場所 / 器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所 / 薬品などの有機溶剤を使用する場所
- 結露について
 - ・本機を湿度が高く、寒暖差の著しい場所で使用すると、本機の外部表面に、空気中の水蒸気が凝結して水滴が付くことがあります。この状態で使用すると故障の原因となります。結露しない環境でご使用ください。
 - ・本機を寒暖差の著しい場所で使用すると、レンズの内側表面にくもりが発生することがありますが、この現象は故障ではありません。
- 撮影について
 - ・本機を撮影禁止場所に設置・使用しないでください。また迷惑防止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により罰則を受けたり、警察等に拘束されたり、本機の没収を受ける原因となります。
 - ・カメラレンズを直接太陽に向けしないでください。撮像不能となることがあります。
- 録画について
 - ・録画中に SD カードを抜いたり、ケーブルを抜いて電源を切ったりしないでください。録画データが破損する可能性があります。
- お手入れについて
 - ・シンナーやベンジン等の強溶剤で本機を清掃しないでください。故障の原因となります。
 - ・本機の清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
 - ・本機に洗剤、化粧品、油などの飛沫が掛かった時は、すぐに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 画面上の輝点、黒点について
 - ・本機は多くの画素により構成された CMOS エリアイメージセンサを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。出力映像に輝点、黒点が見られることがありますが、CMOS エリアイメージセンサ特有の現象であり、故障ではありません。

■ 著作権について

・動画ファイルを権利者に無断で複製することは、著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。

万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。監視目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

■ プライバシー/肖像権について

・クラウドカメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ行ってください。

■ 無線 LAN(WiFi) / Bluetooth の電波について

・本機の無線 LAN(WiFi)機能および Bluetooth 機能は、日本国内規格に準拠し認証を取得しています。
・無線 LAN(WiFi)や Bluetooth 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されており、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや、電磁波が発生しているところで使用しないでください。

・磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります。

(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)

・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。

・近くに複数の無線 LAN(WiFi)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

・アクセスポイントとの許容距離は、見通し距離約 20m です。

◎2.4GHz 帯、5GHz 帯ご使用上の注意

本機の無線 LAN(WiFi)機能は 2.4GHz 帯と 5GHz 帯、Bluetooth 機能は 2.4GHz帯を使用します。

この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

・本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。

・万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

注意事項

・本機はすべての無線 LAN(WiFi) / Bluetooth 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線 LAN(WiFi) / Bluetooth 対応機器との動作を保証するものではありません。

・無線 LAN(WiFi) / Bluetooth は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。

接続に支障がある場合は、今お使いの無線 LAN(WiFi)、Bluetooth のいずれかの使用を中止してください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です。

無線LANではLANケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像やEメールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・傍受した通信内容を書き替えて発信する(改ざん)
- ・コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプタなど無線LAN製品(以下、無線LAN製品という)は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえご使用ください。

セキュリティに関する設定について、お客様ご自身で対処できない場合には巻末記載の弊社まで、お問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。

セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。



目次

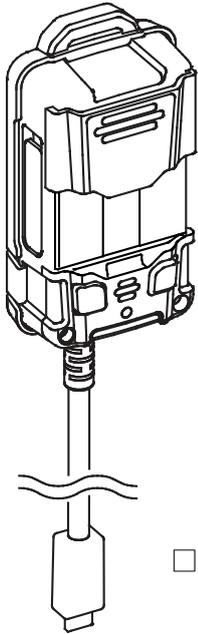
■ 安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
■ 目次	8
① 確認する	9
①-1 箱の中身を確認する	9
①-2 各部の名称を確認する	9
①-3 各モードについて確認する	10
② 準備する	11
②-1 接続方法を選択する	11
②-2 SDカードを挿入する／取り出す	11
②-3 アタッチメントカバーを取り外す／取り付ける	12
②-4 アタッチメントを付ける(クリップ式、カメラネジ式)	13
②-5 設定アプリについて	15
②-6 マルチファンクションボタンについて	20
③ 電源を入れる／切る	21
③-1 電源を入れる	21
③-2 電源を切る	21
③-3 LED インジケータについて	22
④ 映像を録画する	23
④-1 録画する	23
④-2 録画を停止する	23
⑤ 映像を見る	24
⑤-1 クラウドに接続して映像を見る	24
⑤-2 WiFi 接続で映像を見る	25
⑤-3 USB 接続で映像を見る	26
⑥ 記録した映像を再生する	27
⑥-1 SDカードに記録したデータを再生する	27
⑥-2 ELMO QBiC CLOUD にクラウド接続して、録画データを再生する	27
⑦ ELMO QBiC CLOUD について	28
⑧ ファームウェアのアップデート	29
⑨ カメラのお手入れ	30
⑩ 故障かな?と思ったら	31
◆ 現象と確認	31
⑪ 仕様	32
⑫ 保証とアフターサービス	33
■ 商標・ライセンスについて	34

① 確認する

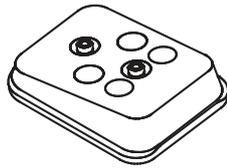
①-1 箱の中身を確認する

下記のものと同梱されているか確認してください。

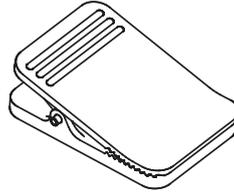
お買い上げのパッケージに下記のものと同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



本機



アンブル
アタッチメント



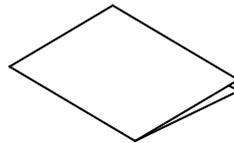
クリップ
アタッチメント



三脚ネジ
アタッチメント



皿ネジ (5pcs)

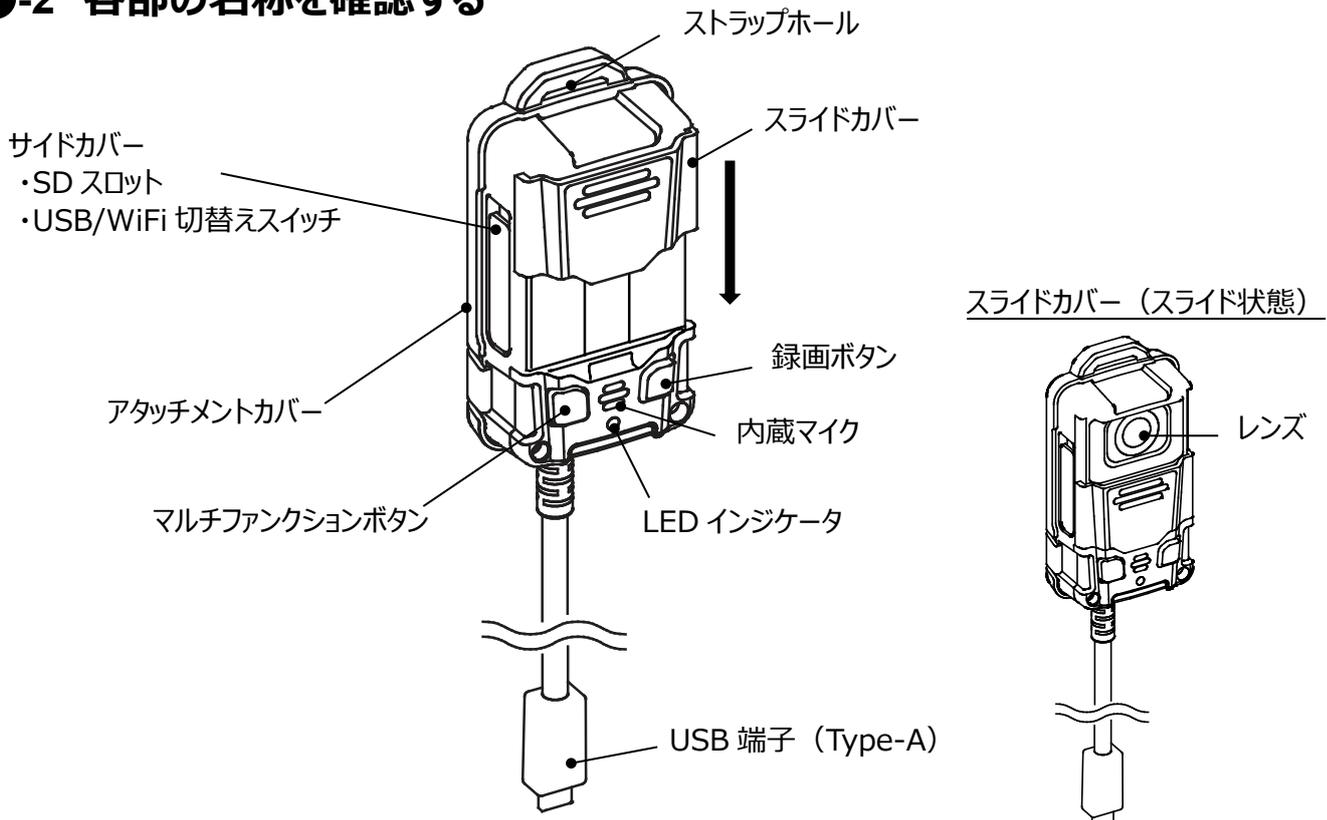


クイックスタートガイド
(保証書付)



警告書

①-2 各部の名称を確認する



①-3 各モードについて確認する

本機は、3種類のモードを搭載しています。ご使用用途に合わせてご利用ください。

◆CLOUD カメラモード（クラウド接続）（⇒P.24）

クラウドに接続することで、遠隔地から現場カメラの映像と音声を確認しながら、作業支援を行うことができます。

弊社クラウドサービス「ELMO QBiC CLOUD」に対応しています。（⇒P.28）

※CLOUD カメラモード中の録画は、クラウドへの保存となり、SD カードへの同時保存は非対応となります。

お知らせ

・クラウドサービスを利用する場合は、別途サービス契約が必要です。

◆簡易 IP カメラモード（WiFi 接続）（⇒P.25）

ネットワークカメラとして機能し、ネットワーク経由でカメラにアクセスできるため、無線ネットワーク内での映像配信が行えます。

microSD カードスロットを搭載しているため、簡易 IP カメラモード利用時でも SD カードへの録画に対応します。

※ネットワーク配信中でも、SD カードへ保存できます。

◆USB カメラモード（USB 接続）（⇒P.26）

パソコンと接続して、ウェブカメラとして機能します。

付属のクリップで取り付けることで様々な固定ができます。

また、組込み型 USB カメラとして、様々な端末・機械に組込み可能です。

microSD カードスロットを搭載しているため、USB カメラモード利用時でも SD カードへの録画に対応します。

◆モードまとめ

	CLOUD カメラモード	簡易 IP カメラモード	USB カメラモード
接続方法	クラウド（WiFi/USB）	WiFi	USB
ビューア	ELMO QBiC CLOUD アプリ	EW-1 WiFi Viewer（⇒P.25）	EW-1 USB Viewer（⇒P.26）
ダウンロード	https://elmo-qbiccloud.com/	ELMO Kitting Tool 同梱（⇒P.15）	ELMO Kitting Tool 同梱（⇒P.15）
録画保存	○	○	○
保存先	クラウドへの保存 ※SD カードへの録画はできません	SD カードへの保存 ※LIVE 配信中でも SD カードへの保存可能	SD カードへの保存 ※LIVE 配信中でも SD カードへの保存可能
サービス契約	必要	不必要	不必要

※SD カードから録画データを取り出す場合は、本機から SD カードを抜いて、カードリーダーを使用してデータを読み出してください。

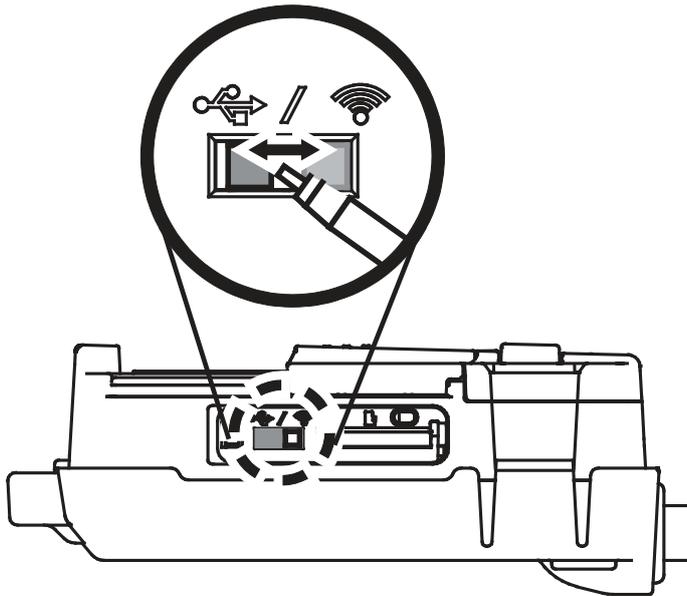


② 準備する

②-1 接続方法を選択する

電源を入れる前に、使用方法に応じて、接続方法（USB 接続／WiFi 接続）を選択します。
先の細い棒状のものを使って、USB/WiFi 切替スイッチを切り替え、利用する接続方法を選択してください。

USB/WiFi 切替スイッチ



[] : USB 接続 (⇒P.26)
⇒PCへUSB 接続して、ストリーミング再生する場合に選択

[] : WiFi 接続 (⇒P.25)
⇒WiFi 接続で PC と接続して、ストリーミング再生する場合

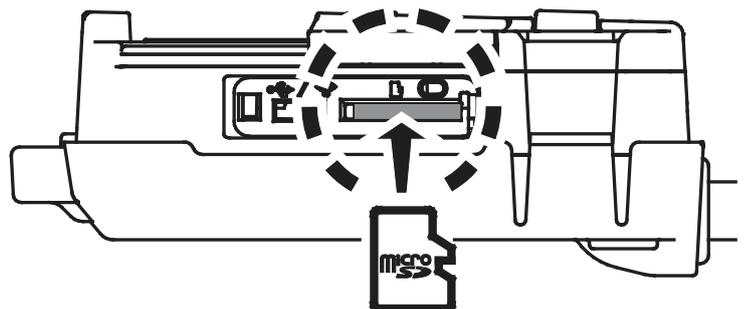
②-2 SD カードを挿入する／取り出す

本機では、SD／SDHC カードに、動画・音声を保存できます。
SD カードへ保存する場合は、SD カードを挿入してください。

- ※SD カードという表現は、すべて microSD カードを示します。
- ※推奨 SD カード : microSD / microSDHC class6 以上
- ※CLOUD カメラモードでは、SD カードへの録画はできません。

◆SD カードを挿入する

- ①電源 OFF 中に、サイドカバーを開け、SD カードをカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。
- ②サイドカバーを閉じます。



注意

- SDカードの向きを間違えて挿入したり、斜めに入れたりすると接触面が破壊され、カードが抜けなくなる可能性があります。
- SDカードが奥まで挿入されていないと、録画できない場合があります。
- SDXCカードはご使用になれません。
- 録画、または再生可能なSDカードは32GBまでとなります。
- SDカードへの処理中は絶対にSDカードを抜き差ししないでください。
- SDカードの製造メーカーや種類によっては、本機で正しく動作しない場合があります。
- SDカードが認識されない場合は、取り出してから再度入れ直してください。
- SDカード挿入口には、SDカード以外のものを挿入しないでください。
- 録画の前に、SDカードに保存されているデータをパソコンに保存してからご使用ください。

◆SDカードを取り出す

- ①電源 OFF 中に、サイドカバーを開け、SDカードを軽く押します。
- ②SDカードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜きます。
- ③サイドカバーの蓋を閉じます。

◆録画日数の目安

microSDカード 32GB 使用時の場合

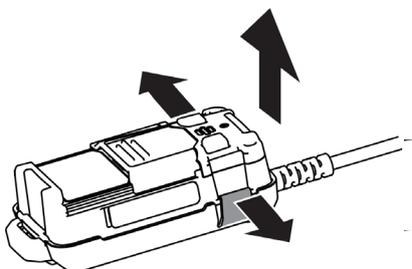
フレームレート	録画日数
5fps	7日
10fps	4日
15fps	2.5日
30fps	1.5日弱

※ビットレート 2Mbps 時

②-3 アタッチメントカバーを取り外す／取り付ける

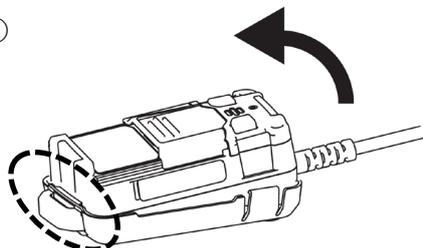
◆アタッチメントカバーを取り外す

①



ツメ部分に対して外方向へ力を加え、カメラ本体をアタッチメントカバーから外して持ち上げます。

②

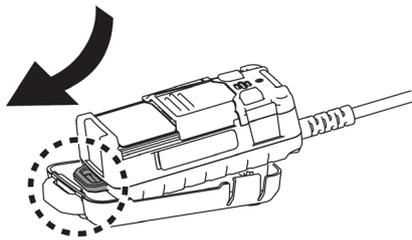


ストラップホール部分が引っ掛かる形状のため、ストラップホール部分を起点として回転させながら引き抜き、カメラ本体を取り外します。

◆アタッチメントカバーを取り付ける

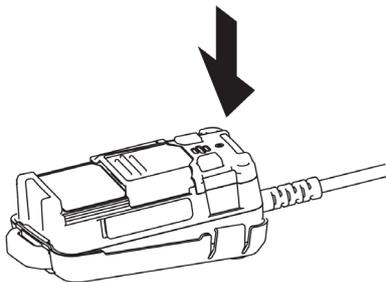
※付属のアタッチメントを取り付ける場合は、アタッチメントカバーをカメラ本体に取り付ける前に、アタッチメントカバーへ取り付ける必要があります。(⇒②-4 参照)

①



カメラ本体のストラップホールをアタッチメントカバーへ、位置を合わせてはめ込みます。

②



カメラ本体をアタッチメントカバーに押し込んで取り付け、ツメ部分がしっかりと掛かっていることを確認します。

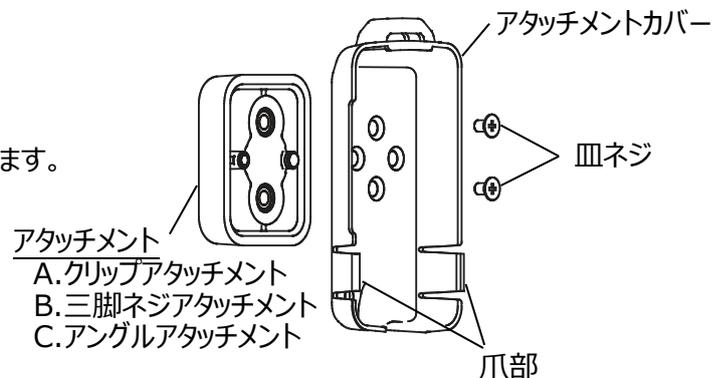
②-4 アタッチメントを付ける (クリップ式、カメラネジ式)

本製品は、アタッチメントを3つ付属しています。
ご使用の状況に合わせてご活用ください。

アタッチメントカバーに各アタッチメントを取付けて使用します。

◆取付手順

1. ツメ部を本機と逆側へ押し、アタッチメントカバーを本機から取り外します。
2. 使用用途により、各アタッチメントを選択し、付属の皿ネジ×2で、アタッチメントカバーに取り付けます。
3. アタッチメントカバーと本機を取り付けます。
4. アタッチメントカバー背面から、アタッチメントカバーと本機を付属の皿ネジ×1で固定します。



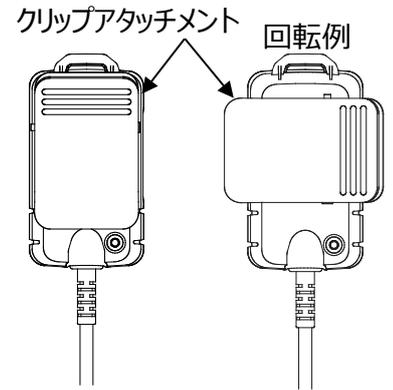
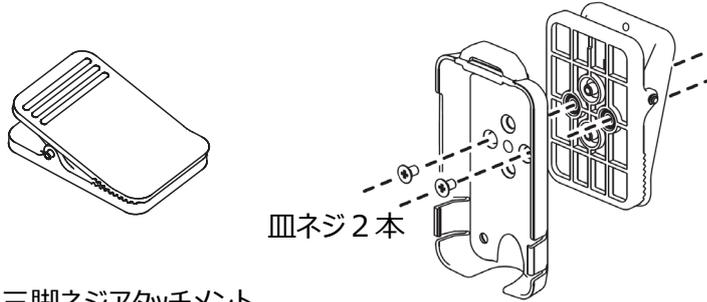
※アタッチメントカバーにはネジ穴が4か所開いており、取り付ける2か所のネジ穴を調整することで、3種類のアタッチメント全てのクリップの向きを90°ずつ変更できます。

注意

・ネジを締めすぎないようにご注意ください。

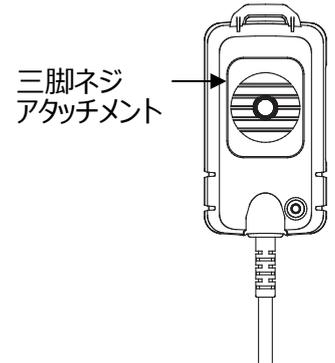
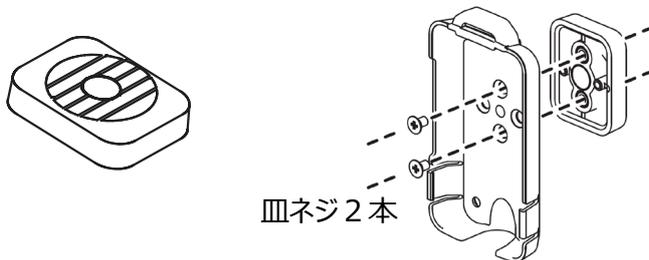
A. クリップアタッチメント

クリップ式になっており、本機を衣服にクリップで簡単に取り付けることができます。手を使わずに簡単に携帯して利用できます。



B. 三脚ネジアタッチメント

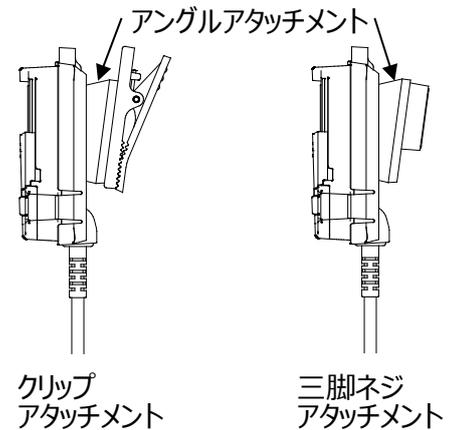
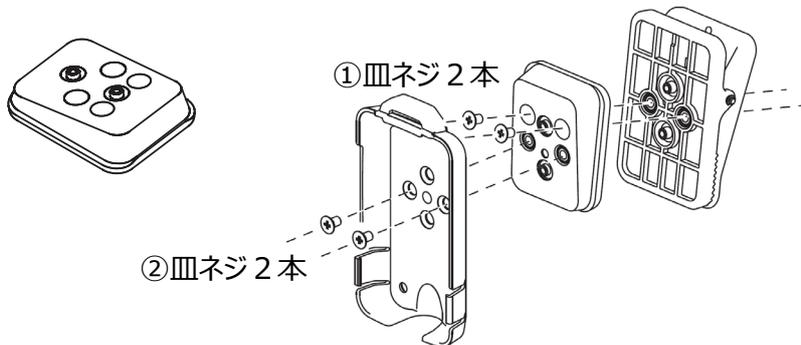
ネジ穴が開いており、アタッチメントカバーに取り付けることで、カメラ用三脚やカメラ固定マウントに本機を取り付けることができます。本機を簡単に固定してご使用いただけます。



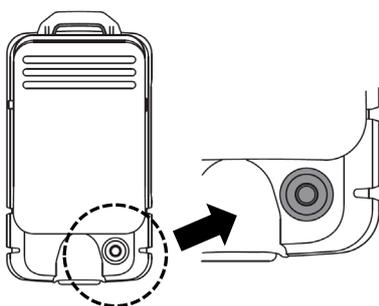
C. アングルアタッチメント

アタッチメントカバーと、クリップアタッチメントまたは三脚ネジアタッチメントの間に挿入して使用します。本機を固定する角度を調整することができます。

- ①各アタッチメントとアングルアタッチメントを取り付けます
- ②アタッチメントカバーに取り付けた後、本機に取り付けます。

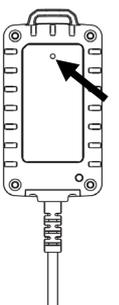


◆アタッチメントカバー外れ防止ネジを取り付ける
付属の皿ネジで、カメラ本体とアタッチメントカバーを取り付けることで、不用意にカバーが外れないように固定できます。



注意

- ・カメラ本体の背面に、内部の圧力調整穴があり、防水膜が貼ってあります。そのため、ペン先などの先端の細いもので突かないでください。防水膜が破損して防水性が保てなくなる可能性があります。
- ・ネジを締めすぎないようにご注意ください。



②-5 設定アプリについて

弊社ソフトウェア「EW-1 Kitting Tool」を利用して以下の項目について設定を行います。

- A. WiFi モード設定（接続方法を設定）
- B. WiFi 設定（各モードにおいての詳細を設定）
- C. SD カード設定（記録の解像度、フレームレートを設定）

※設定アプリはパソコン上で操作を行います。

パソコンをご準備の上、下記の手順に従ってネットワーク設定を行ってください。

①下記 URL より「EW-1 Kitting Tool」のインストーラ（msi ファイル）をダウンロードします。

https://www.elmo.co.jp/info/support/software/EW-1_KittingTool.msi

②インストーラ（msi ファイル）を開き、画面の指示に従い、「EW-1 Kitting Tool」をインストールします。

③インストールした「EW-1 Kitting Tool」を起動します。

※USB/WiFi 切替スイッチが、USB 接続[



「EW-1 Kitting Tool」を立ち上げ、本機とパソコンを USB 接続します。
本機のインジケータ LED が点灯します。

※本機をパソコンに接続していない場合は、左図の画面が表示されます。

USB 接続すると、設定画面が表示されます。

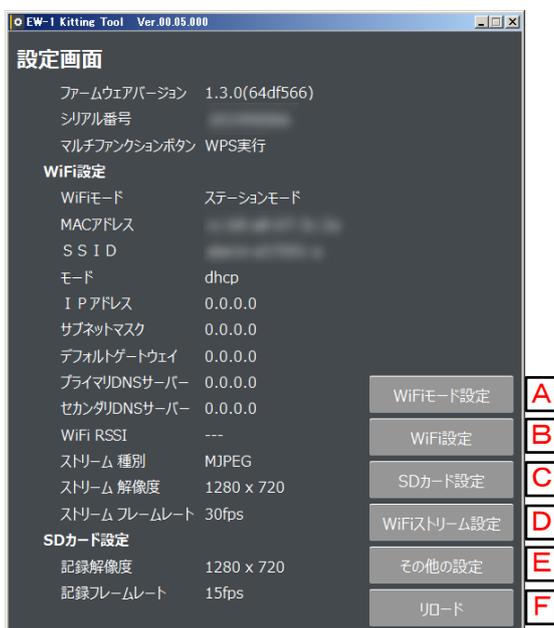
右側のアイコンより、変更したい設定項目を選択します。（WiFi モード設定 / WiFi 設定 / SD カード設定 / WiFi ストリーム設定 / その他の設定）

※起動時の WiFi モードにより、設定画面は異なります。

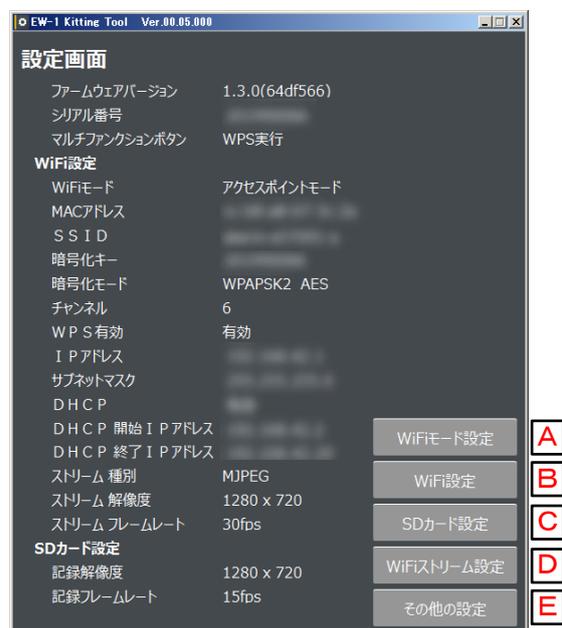
※設定画面には、各種情報が一覧表示されます。

各設定を変更すると、設定画面上に変更が反映されますので、現状の設定状態をご確認ください。

ステーションモード



アクセスポイントモード



A. 「WiFi モード設定」

「WiFi モード設定」を選択し、決定ボタンを押して WiFi モードを決定します。

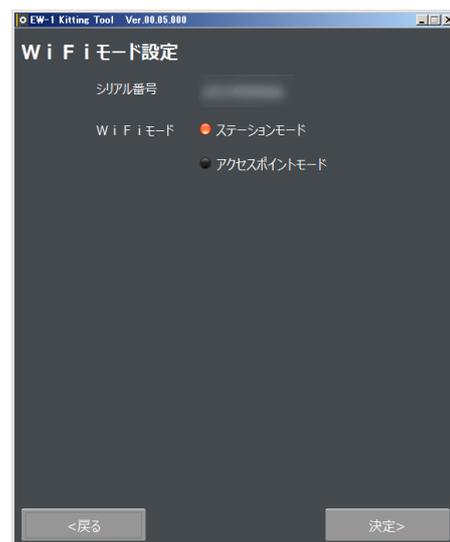
・ステーションモード

本機をルータ、または無線アクセスポイントに接続することで、ネットワークに接続します。[本機を子機として使用する（本機を親機に接続）]

・アクセスポイントモード

本機を無線アクセスポイントとして使用します。

SSID や暗号化キーを任意に設定できます。[本機を親機として使用する]



B. 「WiFi 設定」

「WiFi 設定」を選択し、「WiFi モード設定」で決定したモードについての詳細設定を行います。

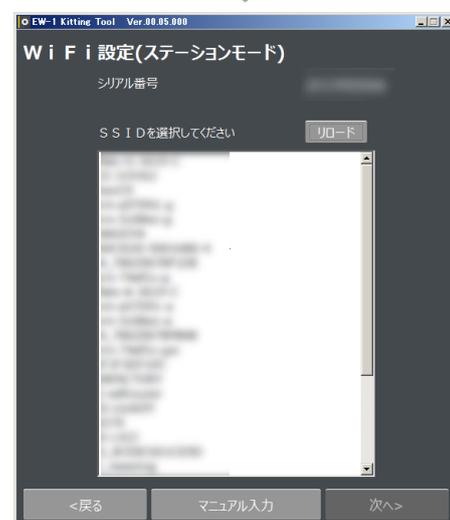
■「ステーションモード」設定時

接続可能なアクセスポイントの SSID（ネットワーク名）一覧が表示されるので、接続する SSID を選択して、「次へ」を押します。

※リロードボタンをクリックすると、SSID 一覧を更新できます。

※SSID をマニュアル入力することもできます。マニュアル入力ボタンをクリックして入力してください。

※接続中は、LED インジゲータが緑点滅します。

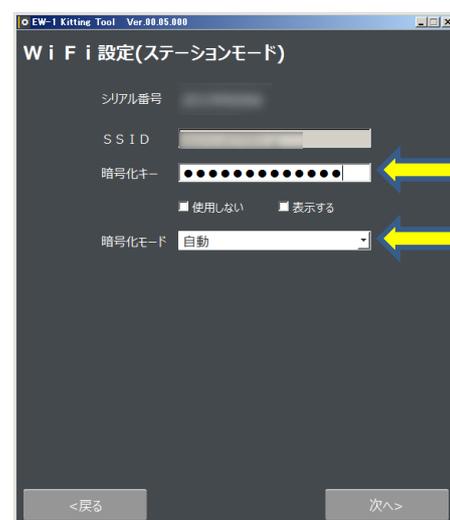


SSID を選択すると暗号化キー入力画面に遷移します。

暗号化キーを入力し、暗号化モードをタブより選択して、「次へ」を押します。

(自動/WEP/WPAPSK_TKIP/WPASK2_TKIP/WPAPS.K_AES/WPAPSK2_AES)

※暗号化キーが不要な場合は、暗号化キーの「使用しない」にチェックしてください。



ネットワークの IP アドレスについて選択します。

ご利用の用途に合わせて、IP アドレスの割り当て方法を選択してください。

DHCP : 自動で IP アドレスが割り振られる為、IP アドレス管理は不要です。

Static IP : IP アドレスを手動で割り当てます。

Static IP選択時(手動入力)

入力が有効になり、各項目を入力できます。

(IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/プライマリDNSサーバー/
セカンダリDNSサーバー)

※DHCP 選択時は、各項目への入力はできません。

次に画質の設定を行います。

・ストリーム解像度…配信する映像の解像度を選択します。

(320×240/640×480/1280×720/1920×1080)

※解像度が高いほど滑らかな映像でなくなる可能性があります。

・ストリームフレームレート…配信する映像のフレームレートを選択します。

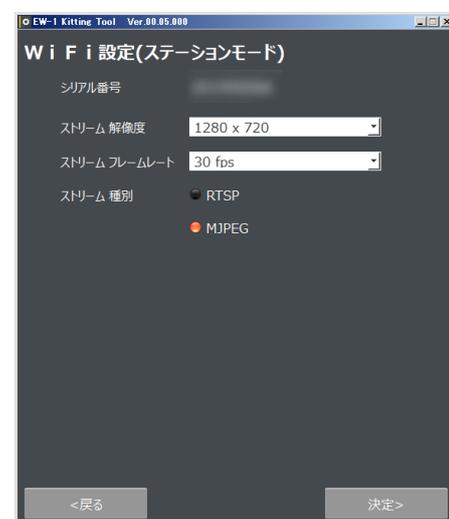
(5fps/10fps/15fps/30fps)

※設定値が大きいほど動きが滑らかになりますが、フレームレートが大きいほど
容量が増えるため、映像が遅延する可能性があります。

・ストリーム種別…映像配信方式を選択します。

RTSP = ビデオ圧縮方式 H.264 を採用し、音声ありで画質を維持したままストレージ容量を減らすことができ
ます。映像配信を軽くできますが、動作している被写体については画質が荒くなります。

MJPEG = 音声データをなしにすることで、高画質な映像配信を行います。動作している被写体も高画質に配
信できます。



注意

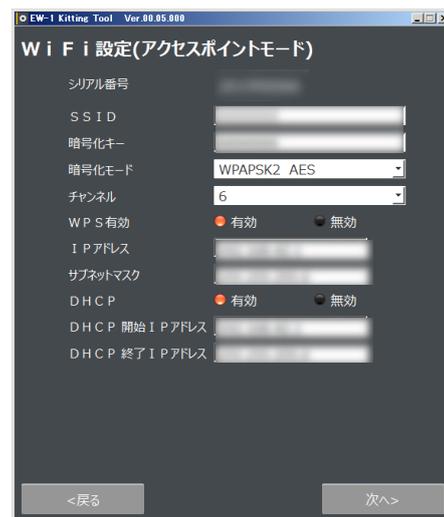
映像配信は、ご利用環境やネットワーク環境によって変化します。

解像度、フレームレートの設定変更によって、映像の遅延などが改善されない場合は、ネットワーク環境に
ついてご確認ください。

■「アクセスポイントモード」設定時

入力画面が表示されるので、SSID や暗号化キーなど、任意の値を入力します。
(SSID/暗号化キー/暗号化モード/チャンネル/WPS機能/IPアドレス/
サブネットマスク/DHCP有効・無効/DHCP開始IPアドレス/
DHCP終了IPアドレス)

※DHCP 開始 IP アドレス/DHCP 終了 IP アドレスを入力する場合は、
DHCP「有効」を選択してください。



次に画質の設定を行います。

・ストリーム解像度…配信する映像の解像度を選択します。
(320×240/640×480/1280×720/1920×1080)

※解像度が高いほど滑らかな映像でなくなる可能性があります。

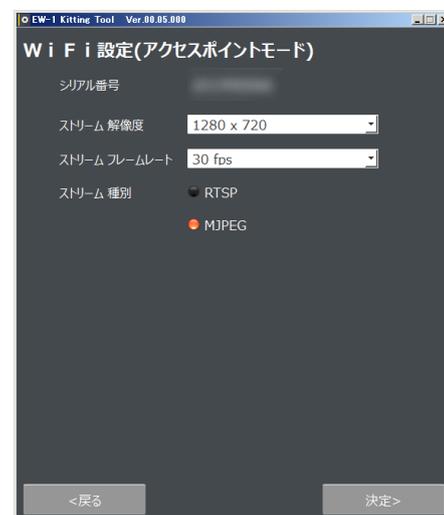
・ストリームフレームレート…配信する映像のフレームレートを選択します。
(5fps/10fps/15fps/30fps)

※設定値が大きいほど動きが滑らかになりますが、フレームレートが大きいほど
容量が増えるため、映像が遅延する可能性があります。

・ストリーム種別…映像配信方式を選択します。

RTSP = ビデオ圧縮方式 H.264 を採用し、音声ありで画質を維持したままストレージ容量を減らすことができま
す。映像配信を軽くできますが、動作している被写体については画質が荒くなります。

MJPEG = 音声データをなしにすることで、高画質な映像配信を行います。動作している被写体も高画質に配
信できます。



注意

映像配信は、ご利用環境やネットワーク環境によって変化します。
解像度、フレームレートの設定変更によって、映像の遅延などが改善されない場合は、ネットワーク環境に
ついてご確認ください。

C. 「SD カード設定」

「SD カード設定」を選択し、SD カードに記録する際の詳細設定を行います。
設定内容は、ステーションモード、アクセスポイントモードともに共通となります。
※WiFi 設定で設定した、解像度・フレームレートの設定によって、選択できる
選択肢が変わります。

- ・記録解像度…SD カードに記録する映像の解像度を選択します。
※記録解像度が高いほど滑らかな映像でなくなる可能性があります。
- ・記録フレームレート…SD カードに記録する映像のフレームレートを選択します。
※設定値が大きいほど動きが滑らかになりますが、フレームレートが大きいほど
容量が増えるため、映像が遅延する可能性があります。

※SD カード設定には、ストリーム種別の選択項目はありません。



D. 「WiFi ストリーム設定」

「WiFi ストリーム設定」を選択すると、ストリーム解像度、
ストリームフレームレート、ストリーム種別のみを簡単に変更できます。

※B の「WiFi 設定」からも変更できますが、SSID(ネットワーク)や
暗号化キーを入力する必要があります。



E. 「その他の設定」

「その他の設定」を選択し、マルチファンクションボタンに割り当てる機能を選択します。
設定内容は、ステーションモード、アクセスポイントモードともに共通となります。

マルチファンクションボタンの機能について、または機能の選択方法については、「**②-6** マルチファンクションボタンに
ついて」を参照ください。

※「EW-1 Kitting Tool」の他に、USB 用ビューアソフト「EW-1 USB Viewer」、WiFi 用ビューアソフト
「EW-1 WiFi Viewer」も同時にインストールされます。
パソコン上において、USB 接続時、WiFi 接続時に各ビューアソフトをプログラムから開いてください。
映像を確認することができます。(⇒P.25/P.26)
「EW-1 USB Viewer」の場合は、ビューア映像の解像度／フレームレートを変更することができます。

注意

本アプリは、機能・操作性向上を目的としたアップデートを行うことがあり、説明に使用している図は実際の
画面と異なる場合があります。予めご了承ください。

②-6 マルチファンクションボタンについて

本機はマルチファンクションボタンを搭載しており、設定アプリ「EW-1 Kitting Tool」で割り当てた機能（下記 A～C）に対するショートカットボタンとして使用できます。

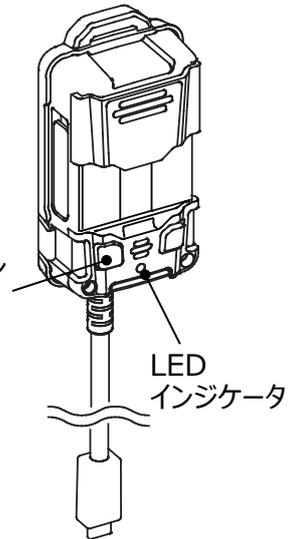
下記 3 つの機能の中から 1 つを割り当てることができます。

- A. WiFi の ON/OFF…WiFi 機能の ON/OFF スイッチボタンとして機能します。
- B. WPS…本機をアクセスポイントに接続することで、自動で簡単にパソコンへ接続できます。
- C. 録画ロック…録画ボタンを押しても、録画をしないように設定します。
録画中に押した場合は、録画を中断して停止します。

※「機能なし」も選択できます。

マルチファンクション
ボタン

LED
インジケータ



■ 機能を割り当てる

1. 設定アプリ「EW-1 Kitting Tool」を起動します。（⇒P.15）
2. 設定画面から「その他の設定」を選択し、設定画面を開きます。
3. 割り当てる機能を選択し、決定ボタンを押すと、確認画面が表示され、設定が完了します。
（機能なし／WiFi ON/OFF 切替／WPS 実行／録画ボタンロック）



■ 割り当てた機能を有効にする、無効にする

マルチファンクションボタンを 2 秒間長押しすると、割り当てた機能の有効／無効を切替できます。

各機能の有効／無効時の LED の色・状態は下記の通りです。LED の色・状態から設定状態を確認してください。

A. WiFi の ON/OFF 切替（無効：USB カメラモード時）

有効時	赤青、または赤緑：3 回交互に点滅
無効時	赤青、または赤緑：2 回交互に点滅

※モード設定状態により、点灯の色が変わります。⇒（青：アクセスポイントモード、緑：ステーションモード）

※電源 OFF 後の起動時、設定は保存されません。

B. WPS 実行（無効：USB 動作モード時／WiFi 動作モード<ステーションモード時>）

有効時	青白：交互点滅（WPS による接続受付中）
無効時	青：点灯（接続できない場合、2 分後に接続を中断）

C. 録画ボタンロック

有効時	紫：2 回点滅
無効時	紫：3 回点滅

※本設定は電源 OFF 後も保存されます。

録画ボタンロック状態で電源 OFF にした場合、再起動後も録画機能はロックされたままとなります。

③ 電源を入れる／切る

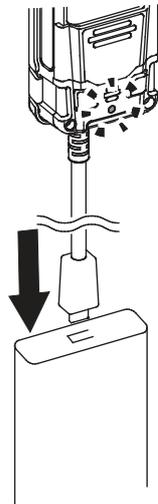
③-1 電源を入れる

- ①本機の USB 端子をモバイルバッテリーに接続します。
またはパソコンに接続します。
- ②本機の電源が ON になります。(LED:黄色点灯)

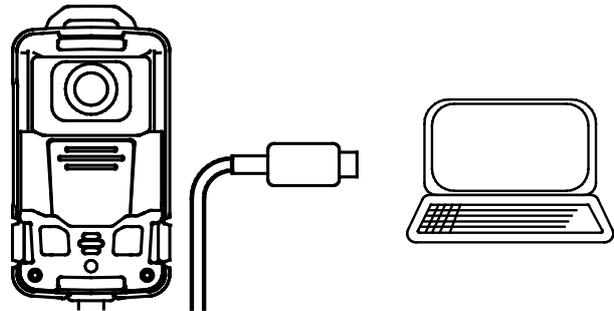
※WiFi 接続による利用の場合は、初めに WiFi 設定が必要です。(⇒P.15)

※「EW-1 Kitting Tool」で設定したモードによって起動後の LED 色は変化します。
LED の色によってモードをご判断ください。(⇒P.22)

バッテリーに接続して電源供給



パソコンの USB 端子へ接続して電源供給



注意

- ・電源を入れると背面が熱くなります。必ずアタッチメントカバーを先に取り付けてから電源を入れてください。
- ・電源を入れる前に、接続方法を USB/WiFi 切替スイッチで選択する必要があります。(⇒P.11)

本機を携帯して使用する場合、必ずバッテリーが必要です。(※本機にはバッテリーは内蔵されておりません。)

- ・バッテリーは弊社推奨品をご使用ください。(撮影時間によりバッテリー容量をご選択ください。)
弊社 HP よりご確認ください。
⇒<https://www.elmo.co.jp/products/security/ew-1/>

③-2 電源を切る

- ①本機の USB 端子をモバイルバッテリー、またはパソコンから取り外します。
- ②本機の電源が OFF になります。(LED:消灯)

注意

- ・録画中の場合は、録画を停止させてから電源を切ってください。

③-3 LED インジケータについて

インジケータ LED でカメラの状態を確認することができます。

インジケータ LED 状態		説明
消灯		電源 OFF
黄	点灯	起動中
赤	点灯	USB 動作モード
青	点灯	WiFi 動作モード<アクセスポイントモード>
緑	点滅	WiFi 動作モード<ステーションモード (未接続) >
	点灯	WiFi 動作モード<ステーションモード (接続中) >
紫	点灯	録画中 (各動作モード共通)
	点滅	録画開始失敗
赤・青	点滅 (交互)	ファームウェアアップデート中

注意

- ・起動後、LED インジケータが赤・青・緑色に点灯しない場合は、接続できていません。
- ・WiFi 接続の場合、ネットワーク設定が必要となります。設定アプリでネットワーク設定を行ってください。
(⇒P.15)

④ 映像を録画する

本機は SD カードに映像を記録します。

ご使用用途に合わせた種類・容量の SD カードを選択し、本機に挿入してください。

※使用可能な SD カードや挿入方法などについては、「②-2 SD カードを挿入する／取り出す」をご参照ください。

◆録画を開始する前に

録画ファイルの解像度/フレームレートの選択は、アプリで行います。

録画を実行する前に、設定アプリの「SD カード設定」で詳細を設定してください。

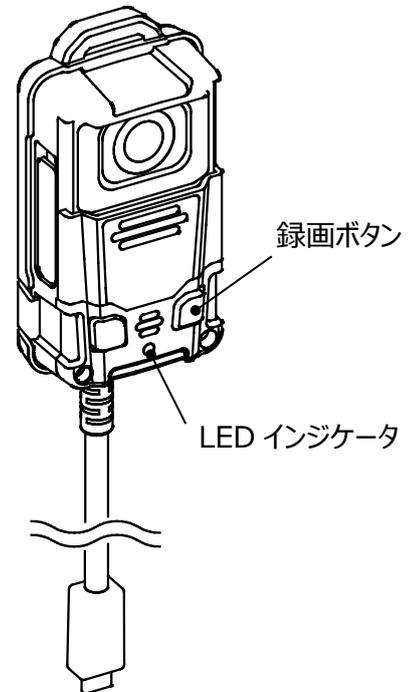
(⇒「②-5 設定アプリについて」参照)

④-1 録画する

①SD カードを挿入した後に、本機の電源を入れます。

②録画ボタンを長押しすると録画を開始します。

録画を開始すると LED インジケータが紫色に点灯します。



お知らせ

- ・録画ファイルは、5 分毎に区切って保存されます。(最大録画時間：5 分)
5 分を経過すると、新しい録画データとして保存します。
- ・記録可能時間はご利用の SD カードの容量によって変化します。下記、「◆撮影時間の目安」をご参照ください。

◆撮影時間の目安

バッテリーの容量	撮影時間
5,000mAh	7 時間

※WiFi ストリーミング配信、SD カード録画なしの場合

※本機はバッテリーを内蔵しておりません。(⇒P.21)

④-2 録画を停止する

①録画ボタンを押すと録画を停止します。

②録画を停止すると、LED インジケータが各状態を示す色に戻ります。(⇒P.22)

⑤ 映像を見る

本機は、クラウドに接続する、WiFi 接続する、または USB 接続することによって、ストリーミング再生できます。

⑤-1 クラウドに接続して映像を見る

「ELMO QBiC CLOUD」を導入すれば、ライブ映像をスマートフォンやパソコンからいつでも視聴できます。

「ELMO QBiC CLOUD」の詳細については、「⑦ ELMO QBiC CLOUD について」を参照ください。

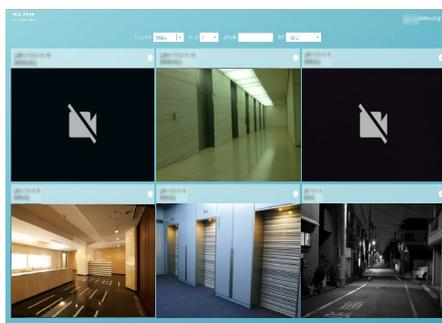
※クラウドサービスを利用する場合は、別途クラウド利用料が必要となります。

◆使用例

■ モバイルアプリ カメラ一覧画面



■ WEB アプリ カメラ一覧画面



再生画面



再生画面



◆映像を確認する

下記の流れで映像確認をします。

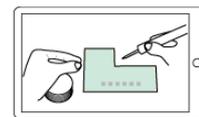
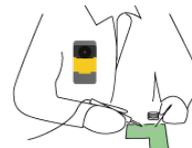
詳細については、「⑦ELMO QBiC CLOUD について」を参照していただき、弊社ホームページよりご確認ください。

- ① アプリを準備する
- ② アプリにログインする（メールアドレスとサービス契約時に発行されるパスワードが必要となります）
- ③ ネットワーク設定をする
- ④ カメラを選択する
- ⑤ ストリーミング再生を開始する

⑤-2 WiFi 接続で映像を見る

◆WiFi 接続する

1. 電源 OFF の状態で、USB/WiFi 切替スイッチを [] に設定します。
2. 本機を電源 ON し、WiFi 機能を使って本機とパソコンを接続します。
(パソコンの WiFi 接続方法についてはご使用のパソコンの取扱説明書を参照ください。)
3. WiFi 接続が完了すると、接続したパソコンでストリーミング再生できます。



本機は下記のモードを搭載しており、遠隔地の作業者に対して支援を行えます。
作業現場を音声と映像で、まとめて支援することができます。

- ・CLOUD カメラモード…クラウドサービス「ELMO QBiC CLOUD」に接続して、カメラ映像の録画や、ライブ映像を視聴 (⇒P.24)
- ・簡易 IP カメラモード…パソコンと本機を WiFi 接続して、LIVE 映像を配信

※CLOUD カメラモードに関しては、2018 年秋以降にアップデート予定です。

※CLOUD カメラモード中の SD カードへの録画データ保存はできません。

※本機の接続状態は、インジケータ LED の色や状態でご確認ください。(⇒P.22)

◆映像を確認する

「ELMO Kitting tool」に同梱されているビューアソフト「EW-1 WiFi Viewer」で映像を確認できます。
また、一般の WiFi Viewer ソフトで映像を確認できます。(⇒P.19)

1. WiFi 機能を使って接続したパソコン上で、WiFi Viewer ソフトを立ち上げます。
2. IP アドレスを入力し、開始ボタンをクリックすると映像を確認できます。
※IP アドレスは、設定アプリ「EW-1 Kitting Tool」で設定した数値を入力してください。



選択項目

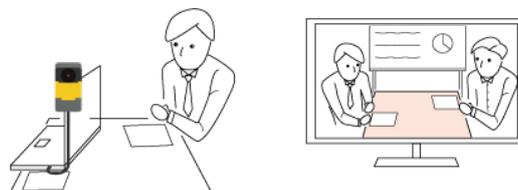
解像度：320×240／640×480／1280×720／1920×1080

フレームレート：5fps／10fps／15fps／30fps

⑤-3 USB 接続で映像を見る

◆USB 接続する

1. 電源 OFF の状態で、USB/WiFi 切替ボタンを [] に設定します。
2. 本機とパソコンを USB 接続し、本機の電源を入れます。
3. 接続したパソコンでストリーミング再生できます。



◆映像を確認する

「ELMO Kitting tool」に同梱されているビューアソフト「EW-1 USB Viewer」でも映像を確認できます。また、一般の USB Viewer ソフトで映像を確認できます。

1. USB 接続したパソコン上で、USB Viewer ソフトを立ち上げます。
2. シリアル番号を入力し、解像度／フレームレートを選択したら、開始ボタンをクリックすると、映像を確認できます。

※シリアル番号は、本機背面に貼り付けられている定格拉ベルに印字されています。

または、設定アプリ「EW-1 Kitting Tool」の設定画面からご確認ください。（⇒P.15）



選択項目

解像度：320×240／640×480／1280×720／1920×1080

フレームレート：5fps／10fps／15fps／30fps

注意

- Viewer 上での解像度／フレームレートの変更は、Viewer 上でみ反映されます。録画映像の解像度／フレームレートを変更する場合は、「ELMO Kitting tool」より実行してください。（⇒P.15）

⑥ 記録した映像を再生する

⑥-1 SD カードに記録したデータを再生する

本機から SD カードを取り出し、ご利用のパソコンへ接続すれば、SD カードへ保存した録画データをパソコンで再生できます。(⇒②-2 SD カードを挿入する／取り出す)

録画データは、一般のビューアソフトで再生できます。
ご利用のパソコンにソフトをインストールして、再生を実行してください。

⑥-2 ELMO QBiC CLOUD にクラウド接続して、録画データを再生する

弊社の防犯録画サービス「ELMO QBiC CLOUD」に登録すれば、映像の録画が可能となり、過去の映像も再生できます。

「ELMO QBiC CLOUD」についての詳細は、「⑦ELMO QBiC CLOUD について」をご参照ください。

7 ELMO QBiC CLOUD について

弊社は、クラウドプラットフォーム「ELMO QBiC CLOUD」を運営しております。

遠隔地の作業者に対して支援を行うツールとなります。
作業現場を音声と映像で、まとめて支援することができます。



詳細な説明、お問合せ、お申込み、サービス説明書のダウンロードなどに関しては、弊社ホームページに記載しております。右記アドレスよりご確認ください。⇒ <https://elmo-qbiccloud.com/>



ELMO QBiC CLOUD の特長

■ 多彩な機能

複数のクラウド防犯カメラの一括管理、HD 録画、異常検知の通知、オンスクリーンディスプレイ・プライバシーマスクなど、多彩な機能をご提供します。

■ 選べるカメラ

本機を含め、クラウド対応防犯カメラ QBiC CLOUD シリーズにも対応しており、リーズナブルな屋内向け WiFi モデルから屋外向け防水対応・有線対応モデルまで、幅広いラインナップを用意しています。

■ 選べるプラン

機種により対応プランが変わります。詳細はお近くの営業所へご相談をお願い致します。

契約後の本機の使用イメージ

① アプリをダウンロードする

- ・スマートフォン・タブレットから視聴する場合は、専用アプリ（無料）をダウンロード。
- ・パソコンを使用してカメラを利用する場合は、インストーラ(ElmoKittingTool.msi)をダウンロード。

② カメラに電源を供給する

- ・スマートフォンやタブレットをご利用の方は、本機の USB ケーブルをモバイルバッテリーへ。
- ・パソコンをご利用の方は、本機の USB ケーブルをパソコンへ接続。

③ アプリを起動し、ログイン後にネットワーク設定する

ダウンロードしたアプリを起動、または WEB ブラウザを立ち上げ、サービス契約時に発行される「メールアドレス」、「パスワード」を入力してログイン。

④ ELMO QBiC CLOUD にログインし、本機を選択

ネットワーク設定が完了していれば、アプリからカメラ映像を確認できます。

詳細については、上記弊社ホームページより「ELMO QBiC CLOUD サービス説明書」をご確認ください。
本取扱説明書も随時アップデートを実施します。弊社ホームページよりご確認ください。

⑧ ファームウェアのアップデート

本機はアップデートに対応しています。

アップデートは本機のソフトウェアを更新する機能で、アップデートを実施する事で新機能を利用できるようになります。

弊社ホームページからファームウェアをダウンロードしていただき、下記手順に沿って書き換えを行ってください。

※初めにファームウェアの「製品バージョン」を「EW-1 Kitting Tool」の設定画面で必ず確認してください。バージョンが最新の場合はアップデートする必要はありません。(⇒P.15)

●事前に準備するもの

- ・EW-1 本体
- ・アップデート用ファームウェア (※1)
- ・SD カード (ファームウェア保存用)

※1 アップデート用ファームウェア準備方法

下記 ELMO 社ホームページより、本機対応の最新のファームウェアをお客様のパソコンへダウンロードして頂き、SD カードにアップデート用ファームウェアをあらかじめコピーしてください。

<https://www.elmo.co.jp/products/security/ew-1/>

<操作手順>

1. アップデート用ファームウェアをコピーした SD カードを本機側面の SD カードスロット (⇒P.11) に挿します。
2. マルチファンクションボタンと、録画ボタンの両方を押しながら、本機の電源を入れます。
※ボタンは LED インジケータが交互点滅するまで押し続けてください。(約 10~20 秒)
3. ファームウェアのアップデートが開始されます。
※アップデート中は、LED インジケータが赤・青色に交互点滅します。
4. 本機の LED インジケータが設定中モードの点灯状態になったらアップデート完了です。
※アップデート開始前に設定していたモードを示す色になります。(⇒P.22)

※本体のバージョンに関係なく、アップデートを実行します。

注意

- ・アップデート中は電源を OFF にしないでください。
- ・SD カード内には、アップデート用ファームウェア以外のファイルを入れないでください。正しくアップデートされない場合があります。

⑨ カメラのお手入れ

カメラのお手入れは電源 OFF の状態で行ってください。

● 普段のお手入れ

乾いた柔らかい布でふいてください。

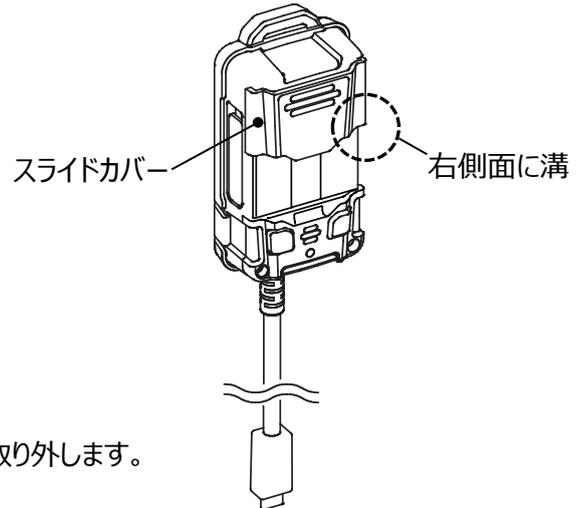
● 汚れがひどい場合のお手入れ

湿らせた柔らかい布で汚れをふき取ってください。その後、乾いた柔らかい布で水分をふき取り、風通しの良い日陰で完全に乾かしてください。

■ スライドカバーの取り外し方

本機は下記の方法でスライドカバーを取り外すことができます。

1. 本機の右側面にある溝を確認します。
2. 溝にマイナスドライバーなどの先端が薄いものを入れます。
3. 本機の上方向に力をいれ、カメラ本体からスライドカバーを取り外します。



注意

- ・スライドカバー取り外し時は、カメラ本体の樹脂にキズが付きやすいので、マイナスドライバーなどの先端が薄いものを使用する際は、柔らかい布などを先端に巻いた状態で作業を行ってください。

■ スライドカバーの取り付け方

1. 本機左側から位置を合わせて、スライドカバーを付けます。
2. 右側も本機に押し込んで、溝にはめ込みます。

⑩ 故障かな？と思ったら

◆ 現象と確認

以下のことをお確かめのうえ、異常があるときは、巻末記載の弊社問合せ先までご相談ください。

現象	この点を確認してください
WiFi が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・LED インジケータの色をご確認ください。 青色、緑色点灯以外の場合、WiFi 設定ができていません。パソコンからネットワークの再設定を行ってください。 ・WiFi のパスワードを入れても緑点滅の場合は、パスワードが違っているか、WiFi の受信感度が弱い可能性があるため、アクセスポイントの近くで再設定を行ってください。 ・青点滅のまま繋がらない場合は、WiFi 電波が弱い可能性があるため、アクセスポイントをカメラに近づけてください。 ・電波状況により無線アクセスポイントが見つかりにくい場合があります。 無線アクセスポイントの置場場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。 ・本機の USB/WiFi 切替スイッチが USB 側に設定されていませんか。WiFi 側にスイッチをスライドして切替えてください。
画質が悪い、またはブロックノイズが入る	WiFi の電波が弱いため、正常にカメラからのデータ送信ができていない可能性があります。WiFi ルータを近づける、電波を遮断していないかをご確認ください。
映像が映ったり、映らなかったりする	WiFi 接続が不安定であることが原因である可能性があります。 カメラの設置環境のご確認、または閲覧している視聴環境をご確認ください。
録画した映像に音声は録音されていない	内蔵マイクは本機前面にあります。 内蔵マイクが塞がれていないかをご確認ください。
録画が勝手に止まる	<ul style="list-style-type: none"> ・動画撮影に使用可能な SD カードをご使用ください。 ・データ書き込み速度の低下、または記録・消去の繰り返しにより、記録可能時間が短くなる場合があります。
USB ケーブルをパソコンに接続しても、パソコンが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンに複数の USB 端子がある場合は、USB 端子を変更してください。 ・パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、USB ケーブルを再度接続し直してください。
ネットワーク利用で映像が見られない	カメラがネットワークに接続されていません。ケーブルが外れていないか、無線の場合は WiFi が切断されていないかをご確認ください。

⑪ 仕様

一般	外形寸法	W44×H78×D28.6(突起部、アタッチメント部除く)
	質量	カメラ本体：約105g (USBケーブル含む) クリップアタッチメント：約20g 三脚ネジアタッチメント：約8g アングルアタッチメント：約11.5g
	ケーブル	長さ：800mm コネクタ：Type-A
	電源	DC5V
	消費電流	0.7A (USB接続時：0.5A)
	耐環境性能	-10℃～40℃ (動作時)
	湿度	30～90% (結露しない事)
	防水	IP65 (ケーブル端子部を除く)
カメラ	センサー画素数	200万画素 (16 : 9) 1/2.8インチ
	最低被写体照度	0.05lux
レンズ	画角	水平126° 垂直65° 対角150°
	F値	2.2
マイク (内蔵)	指向性	無方向
	周波数	100Hz ~ 8kHz
スピーカー	-	
ボタン スイッチ	録画ボタン	SDカードへの録画開始/停止
	マルチファンクションボタン	ボタンに割り当てる機能を設定可能
	USB/WiFi切替スイッチ	USBとWiFiの切替え
USB	規格	USB2.0
	デバイスクラス	複合デバイス対応 USB Video Class1.1以上/USB Audio Class1.0以上
	解像度	解像度：最大FullHD
	フレームレート	～15fps(1920×1080) ～30fps(1920×1080以外)
	画像フォーマット	MJPEG
WiFi	無線LAN規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz)
	セキュリティ	WEP(128bit), WPA/WPA2-PSK(TKIP/AES)
	解像度	解像度：最大FullHD
	フレームレート	最大30fps (FullHD時は、Max15fps)
	画像フォーマット	H.264
	ネットワーク設定	USB接続でのWiFiネットワーク設定
	接続距離	見通し20m
モード	設定アプリより切替 (アクセスポイントモード/ステーションモード)	
Bluetooth	規格	Bluetooth V4.2
	データレート	1/2/3 Mbps
	接続距離	見通し5m
SDカード	microSD/microSDHC class6以上 (FAT16/32)	
	MP4, TS (動画：H.264 音声：AAC)	
内蔵バッテリー	なし ※外部バッテリーをご利用ください	

⑫ 保証とアフターサービス

保証書について

保証書は本製品同梱のクイックスタートガイドに印刷されております。
保証規定をよくお読みの上、大切に保存してください。

【保証規定】

1. 取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理を致しますので、お買い上げ店か次ページに記載されているお問い合わせ先にお申し出ください。

尚、お買い上げ店または当社連絡先にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。

2. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象となりません。

- (1) 使用上の誤り(取扱説明書以外の誤操作等)により生じた故障および損傷
- (2) 当社の指定する修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
- (3) 泥・砂・水などのかぶり、落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷
- (4) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変等による故障および損傷
- (5) 使用頻度、使用環境等により寿命部品が、自然摩耗または自然劣化したと当社が判断された故障および損傷
- (6) お買い上げ後の輸送、移動、落下および保管上の不備等による故障および損傷
- (7) 保証書の添付のない場合
- (8) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合
- (9) 販売店様が保証書にご記入日が証明されていない場合、また、お客様のご購入日が確認できる書類(レシートなど)が添付されていない場合

3. 本製品及び本製品に接続されている他の機器の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。

※ ご注意

1. 保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証書の表示について、ご不明な点は次ページに記載されているお問い合わせ先にお申し出ください。

【保証書取り扱い上のご注意】

1. 保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし記載もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
2. 保証書は紛失されましても再発行致しませんので大切に保存してください。
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

【アフターサービスについて】

1. 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、次ページに記載されているお問い合わせ先までお申し出ください。

■ 商標・ライセンスについて

ELMO、ELMO QBIC、 は株式会社エルモ社の商標、または登録商標です。
SD、SDHC、SD ロゴは SD-3C, LLC 商標です。
Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- ・スライド、書籍、写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。
- ・本製品は、商工業地域で使用されるべき情報装置です。住宅地、またはその隣接した地域で使用すると、ラジオやテレビジョン受信機等に、受信障害を与えることがあります。
- ・補修用性能部品について
弊社では本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 3 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
- ・この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い、正しい取り扱いをしてください。

◆お問い合わせ先

製品の問合せ エルモフロンティア カンパニー	〒457-0078 名古屋市南区塩屋町一丁目3番地4 E-Mail : online-info@elmo.co.jp
修理の問合せ 株式会社エルモ社 カスタマーサービス	〒457-0078 名古屋市南区塩屋町三丁目9番地 TEL : 052-811-5135 FAX : 052-811-3720 E-Mail : service.co@elmo.co.jp